

高度医療人材養成拠点形成事業

(高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援)

先端医療学研究を軸に展開する、メディカルデータマイニングを活用可能な

研究医養成プログラム

～臨床医に優しいインターフェースを実現した医療情報分析支援システムの研究開発～

1. 対象

1981年10月19日から2024年12月31日までに、高知大学医学部附属病院を受診された方。ただし、当院受診時の総合同意書にて、情報利用について拒否された方は除きます。

2. 業務委託による診療データの提供について

高知大学医学部附属病院は、1981年10月19日の開院時から我が国初のトータルオーダリングシステムである総合医療情報システム（IMIS）を稼働しました。さらに医学部附属病院開院当初からの40年間38万人の診療データを用いて仮名化データベースであるRYOMA2を構築しました。このような臨床現場で得られた診療行為に基づく医療ビッグデータをリアルワールドデータといいます。

リアルワールドデータを利用することで、安全性や治療効果の高い医療の提供につながるなどが期待されますが、診療データであるため、臨床研究で得られたデータと比べて正確性や信頼性において劣る面があり、個々の研究者が研究に利用するためには医療情報のデータ加工やフィージビリティ調査（研究の実現性調査）に時間を要していました。

今回、民間企業に業務委託し、診療データから効率的に研究が行えるよう研究者にとって操作的、視覚的にわかりやすい医療情報分析支援システム（RYOMA3）を開発・実装することになりました。

この業務委託により、高知大学と契約を締結した下記の業者に診療情報の取り扱いを委託しますが、その際には、氏名等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付与します。対応表は、高知大学の個人情報取扱者が保管・管理し、業務委託業者はRYOMA3の開発および実装以外の目的で個人情報を取り扱うことはございません。

また、業務委託業者における個人情報管理は、高知大学が責任をもって監督します。

業務委託業者：株式会社4DIN

〒105-0004 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館805

3. 実施期間

高知大学医学部倫理委員会の承認日から2030年3月31日までを予定しています。

4. 個人情報の利用開始日

高知大学医学部倫理委員会の承認日（2025 年 1 月 日）

5. 事業に用いる情報の種類

① 電子診療録情報：

患者情報（仮名化 ID、年齢、性別、身長、体重、生誕年）

入退院情報（診療科、入院日、退院日、入院年、退院年、入院年度、退院年度、退院理由、退院時病名、入院目的）

来院情報（診療科、外来予約日、外来予約年、初診再診区分）

病名情報（病名、診療科、病名開始日、病名開始年、診療科、病名関連コード、転帰情報）

処方・注射情報（薬品名、医薬品コード、用量、処方開始日、処方開始年、日数・回数、用法、手技）

手術情報（手術日、手術関連コード、手術年、術式名）

検査情報（診療科、性別、年齢、検体採取日、検体採取年、検査項目、検査材料、結果）

② DPC 情報（身長、体重、喫煙指数、入退院時 JCS、入退院時 Barthel Index、入退院時褥瘡の有無、DPC コード、入院中の主な診療目的、治験実施の有無、入院経路、他院よりの紹介の有無、自院の外来からの入院、予定・救急医療入院、救急車による搬送の有無、退院先、退院時転帰、24 時間以内の死亡の有無、主傷病名、入院契機病名、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した傷病名、手術日、手術名、妊娠の有無、出生時体重、出生時妊娠週数、分娩時出血量、入院周辺の分娩の有無、入院時 GAF 尺度、肺炎の有無、Hugh-Jones 分類、肺炎の重症度分類、SOFA スコア、発症前 Rankin Scale、退院時 Rankin Scale、脳卒中の発症時期、TNM 分類、癌ステージ、化学療法実施有無、テモゾロミド（初回治療）の有無、NYHA 心機能分類、CCS 分類、Killip 分類、肝硬変の Child-Pugh 分類、急性膵炎の重症度分類）

6. お問い合わせ先

本事業に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、情報が当該事業に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および事業への利用を拒否する場合の連絡先：

兵頭 勇己（高知大学医学部附属医学情報センター 講師）

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2212 FAX：088-880-2214

RYOMA3 開発活用統括：

畠山 豊（高知大学医学部附属医学情報センター長・教授）